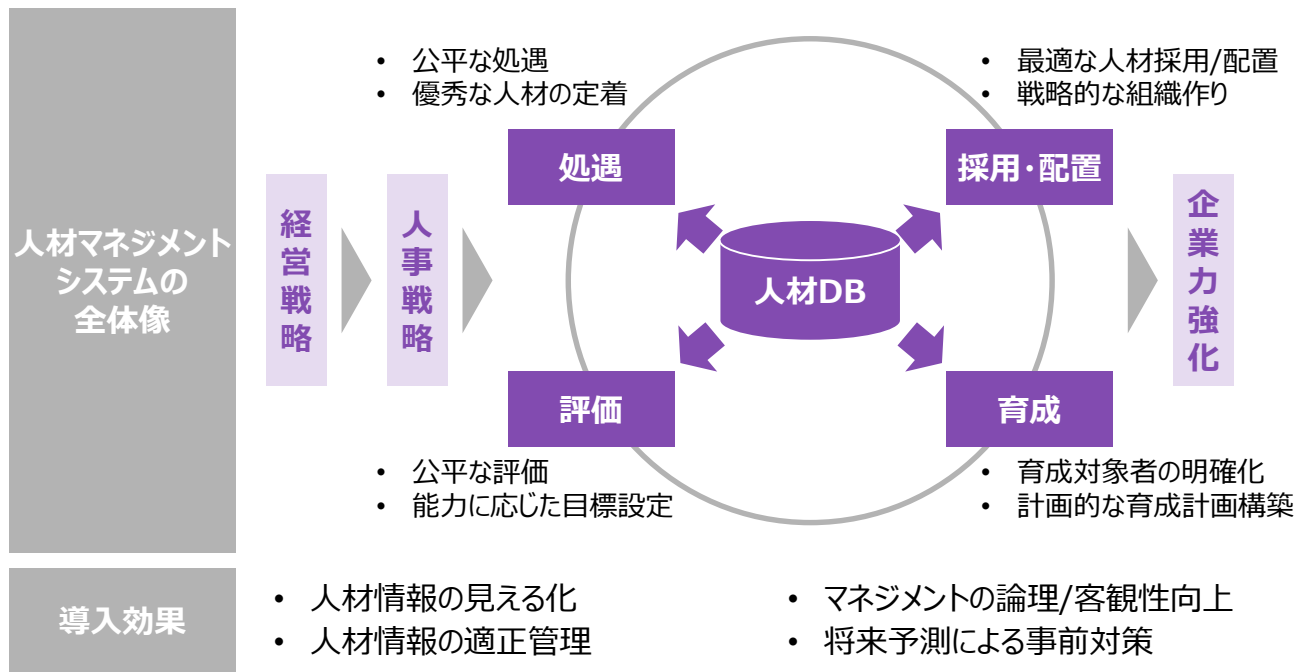


人材マネジメントシステム構築の方法論

人材マネジメントシステムの概要

外部環境の変化が激しさを増す中、グローバルでの人材管理等、人事を取り巻く環境は劇的に変化しています。人材マネジメントシステムとは、企業の経営・人事戦略を実現するために人材管理を効率よく、効果的に行うためのツールです。人材マネジメントプロセス（採用・配置・育成・評価・処遇）を通して、人材確保や能力開発を戦略的に推進し企業力強化を図ります。



こんなお悩み・お困りごはありませんか？

よくある失敗

システムを導入したが、、、

- 分析や集計できる形で情報が管理されていない
- 構築された機能が描いていたイメージと異なる

成功ポイント

- 課題/要望/要件を抽出しシステムに反映する
- 要件定義の段階から、システムの実現イメージを確認しながら構築する

QUNIEサービス

事例1
業務・システム両視点でのシステム構築

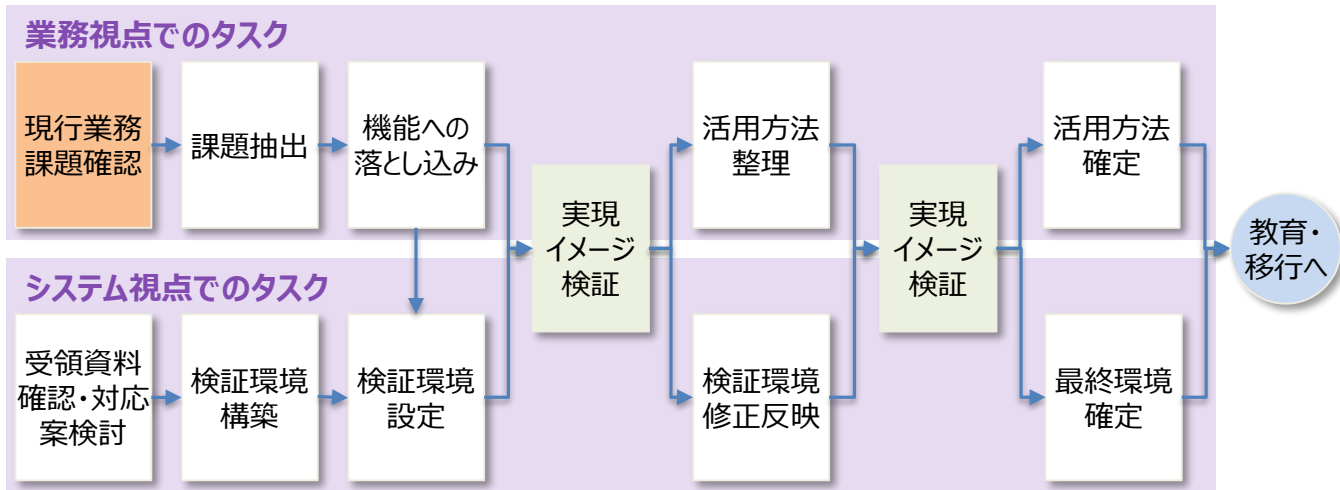
新制度を導入したが、、、

- 現状を正しく把握できていないため、新制度を適用できず例外での運用が必要となる
- 制度設計をしたが、システムへ落とし込めず、想定外の運用工数が発生している

- 現行制度の情報をシステムに取り込むことで、現状を効率的かつ正確に把握する
- 新制度での運用を事前に検証し、その結果を新制度に反映する

事例2
戦略・ITパラレル導入

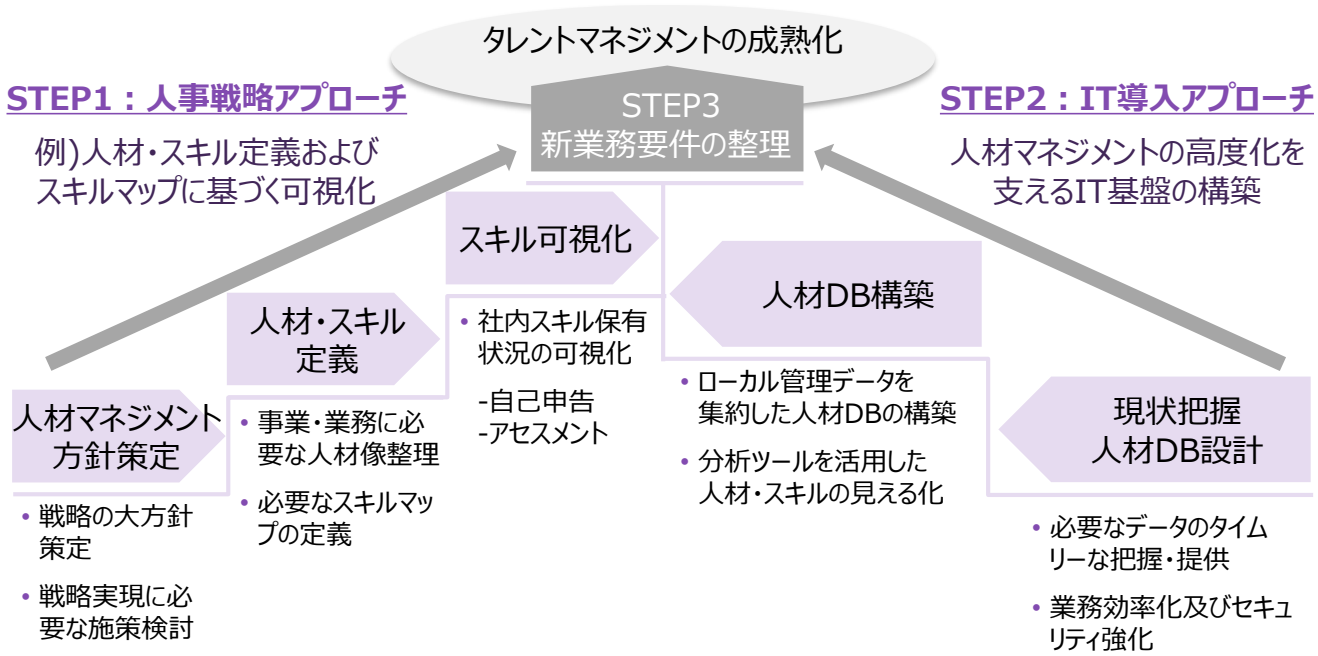
サービス事例 1：業務・システム両視点でのシステム構築



得られる効果

- ① 現業務の課題・改善要望を確実に抽出しシステムに反映するため、**課題/要望/要件を満たしたシステム構築が可能**
- ② 要件定義の段階で業務のシステム実現イメージを繰り返し検証するため、**イメージ通りのシステム構築が可能**

サービス事例 2：戦略・IT平行導入



得られる効果

- ① **システムを用いた効率的な現状把握が可能**
- ② システム対応可否を確認しながら進めるため、**実用性の高い制度とシステム構築が可能**